

大館に洒落た画材屋さん発見

広報市民リポーター

佐々木知恵美さん（中神明町）



私が夫の転勤で弘前から大館に引っ越して来て、早一年が経ちます。絵を描くことが好きな私は、引っ越して来た当初から、大館には絵になる場面がとて多いいと感じていました。中でも私が一番気に入っているのは、初秋のころのたたずまい。弱ったとんぼが、路面や家の壁、人の頭や体にベタベタと付く様は、妙にこっけいかわいらしく、童画にはもってこいのホンワリとした良い雰囲気を感じ出しています。私は大館の街並みを見て、このような絵画的な場所には、きつと素敵な美術愛好家がいるだろうと直感していました。

気になるお店

そんな時、住まいからさほど遠くない場所に、気になる1軒のお店を発見しました。そのお店のショーウィンドーには、小学生が

描いたと思われる絵や、プロではない、恐らく素人さんが描いたと思われる絵が何点か飾ってありました。ショーウィンドー前に置かれた「額縁2割引き」の立て看板のインパクトが強いせいか、私は最初、額縁屋さんかと勘違いしてしまい、入ることを何度かためらったほどです。それほど、一見、画材屋さんには見えないお店です。

今回、私がリポートするのは、この画材屋さんです。私がこのお店に通い始めたころ、使いかけの油絵具やオイル、描きかけのキャンバスが、店の商品と一緒に置いてあるのを見つけました。それが、ここで絵を習っている生徒さんのものだとは知ったのは、もっと後のことなのですが、それらの画材や、ショーウィンドーに飾ってある生徒さんの絵、店内に飾ってあるお客さんが置いて行った絵などを目